

●各推奨施策と共通テーマのおおよその該当関係

該当する1、強く該当する2

分野 番号	分野	施策 番号	施策名	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4	テーマ5
				難民	人員	可視化	情報・啓 発	好事例
1	1	がん対策全般 にかかると事項	1	がん対策予算の100パーセント活用プロジェクト			1	
2			2	がん対策ノウハウ普及プロジェクト				1
3			3	都道府県がん対策実施計画推進基金の設置				2
4			4	がん対策へのPDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルの 導入			2	
5			5	医療従事者と患者・市民が協働する普及啓発活動支援				2
6			6	がん患者によるがんの普及啓発アクションプラン				2
7	2	がん計画の進 捗・評価	1	がん予算策定新プロセス事業			2	
8			2	都道府県がん対策推進協議会などのがん計画の進捗管理			2	
9	1	放射線療法お よび化学療法 の推進並びに 医療従事者の 育成	1	がんに関わる医療従事者の計画的育成			2	
10			2	放射線診断学講座と放射線治療学講座の分離		2		
11			3	医学物理士の育成と制度整備		2		
12			4	がん薬物療法専門家のためのeラーニングシステム		2		
13			5	専門資格を取得する医療従事者への奨学金制度の創設		2		
14			6	専門・認定看護師への特別報酬		2		
15	2	緩和ケア	1	切れ目のない終末期医療のためのアクションプラン	1		2	
16			2	長期療養病床のがん専門療養病床への活用(モデル事 業)	1			2
17			3	がん診療に携わる医療者への緩和医療研修		2		
18			4	緩和医療研修のベッドサイドラーニング(臨床実習)の推進		2		
19			5	緩和医療地域連携ネットワークのIT化	1	1		1
20	3	在宅ケア	1	在宅ケア・ドクターネット全国展開事業	1			2
21			2	在宅医療関係者に対するがんの教育研修	1	2		
22			3	在宅緩和医療をサポートする緊急入院病床の確保	2			
23			4	大規模在宅ケア診療所エリア展開システム	1			2
24			5	介護施設に着取りチームを派遣する際の助成	1			
25			6	合同カンファレンスによる在宅医療ネットワーク				2
26	4	診療ガイドライ ンの作成(標 準治療の推 進)	1	ベンチマーキング(指標比較)センターによる標準治療の推 進			2	1
27			2	診療ガイドラインの普及啓発プロジェクト				1
28			3	副作用に対する支持療法のガイドライン策定				1

29	5	医療機関の整備等(がん診療体制ネットワーク)	1	がん診療連携拠点病院制度の拡充					
30			2	拠点病院機能強化予算の交付金化(100%国予算)					
31			3	サバイバーシップ・ケアプラン(がん経験者ケア計画)	2				
32			4	医療機関間の電子化情報共有システムの整備	1		1		1
33			5	がん患者動態に関する地域実態調査	2		2		
34	6	がん医療に関する相談支援および情報提供	1	がん相談全国コールセンターの設置	2			1	
35			2	「がん患者必携」の制作および配布	2			1	
36			3	外来長期化学療法を受ける患者への医療費助成	1				
37			4	全国統一がん患者満足度調査			2		
38			5	地域統括相談支援センターの設置	2				
39			6	相談支援センターと患者・支援団体による協働サポート	1	1			1 1
40			7	がん経験者支援部の設置	2	1			1
41	7	がん登録	1	地域がん登録費用の10/10助成金化			2		
42			2	がん登録法制化に向けた啓発活動			1	2	
43			3	がん登録に関する個人情報保護体制の整備			1	1	
44	8	がんの予防(たばこ対策)	1	たばこ規制枠組条約の順守に向けた施策				2	
45			2	喫煙率減少活動への支援のモデル事業					2
46			3	学校の完全禁煙化と教職員に対する普及啓発				2	1
47	9	がんの早期発見(がん検診)	1	保険者・事業者負担によるがん検診					
48			2	保険者負担によるがん検診のモデル事業					
49			3	がん検診促進のための普及啓発				2	
50			4	がん検診の精度管理方式の統一化					
51			5	長期的な地域がん検診モデル事業					2
52			6	イベント型がん検診に対する助成				1	2
53	10	がん研究	1	抗がん剤の審査プロセスの迅速化	1				
54			2	希少がん・難治がん特別研究費	1				
55			3	がんの社会学的研究分野の戦略研究の創設				1	1
56			4	がん患者のQOL(生活の質)向上に向けた研究の促進	2				
57	11	疾病別対策	1	疾病別地域医療資源の再構築プロジェクト			2		
58			2	子宮頸がん撲滅事業					
59			3	小児がんに対する包括的対策の推進	2				1

共通テーマ①は、「がん難民対策（切れ目のない医療の実現）」である。

これに該当すると考えられる施策は施策 21 番、30 番、33 番、34 番 38 番、59 番などである。

“がん難民”とは初発治療、再発治療、延命治療、終末期ケアなどの流れの中で、医療機関などから医療やケアの提供者を紹介してもらえず、自分でそれを探すなど、適切な治療をタイムリーに受けられない患者のことである。

“がん難民を生まないで”という患者関係者からの強い声も受けて、がん対策基本法が成立し、それによってがん対策推進基本計画および都道府県がん対策推進計画が策定された。しかし、患者関係者、医療関係者からはがん難民問題はいっこうに軽減されたとは感じられていない。むしろ、増えているのではないかと指摘する人も少なくない。

がん難民の解消は喫緊の課題の一つと考えられる。また、単独の施策ではこの重大問題は解決できない。これに該当する一連の施策を、セットとして推進する必要があると考えられる。

共通テーマ②は、「がん診療にかかる医療従事者の確保と育成」である。

これに該当すると考えられる施策は、施策 10 番、11 番、12 番、13 番、14 番、16 番、17 番、20 番などである。

がん医療従事者の不足、地域偏在の指摘の声は多かった。医療資源の不足感のはが領域に限らないが、がん領域において、不足感の強い専門医療従事者の早期育成や、教育研修制度の強化は喫緊の課題だと考えられた。また、並行して、既存の医療従事者の連携や研修によって、できるだけ早い即戦力を育成する工夫も大切である。

共通テーマ③は「がんおよびがん対策の現況の“見える化”（可視化）」である。

これに該当すると考えられる施策は施策 4 番、7 番、8 番、9 番、14 番、25 番、33 番、37 番などである。

がん対策においては、「海図も羅針盤もなしにがん対策という大海を航海している」といったことがしばしば指摘される。提供されているがん医療の質、がん対策の進捗度に関する指標、地域がん登録による罹患率、治療成績、死亡率の把握などのデータの整備が重要である。見える化によって、がん対策の促進を加速する、患者・住民の意識を高める、がん対策の進捗に関する評価と管理を行う——などの効果が期待できる。

がん対策基本計画の目標達成に向けていわゆる PDCA サイクルが回っていないという指摘は多かったが、これらの施策群は、PDCA サイクルの基盤となるものである。これまでの日本のがん対策はがんの現況を把握する仕組みというがん対策の 1 階部分を抜かして、2 階部分ともいえる治療、早期発見、予防などの具体的対処に取り組んできたが、1 階部分を抜かしたために、打った対策が奏功しているのかどうか分からない状況である。

5 年間の第 1 期がん対策推進基本計画の 4 年目となる平成 22 年度が、いま、がん対策のインフラを作っておくラストチャンスであるともいえる。

共通テーマ④は、「がん対策の情報提供と普及啓発」である。

これに該当すると考えられる施策は、施策 5 番、6 番、44 番、46 番、49 番などである。

がん対策の多くが普及啓発の側面を持つ。予防、がん検診、緩和ケアなど、地域住民の